

事務事業名 コミュニティセンター改修事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1597

施策：	14	地域コミュニティによるまちづくり	財務コード	01020114-33-00
基本事業：	02	地域コミュニティ活動施設の利用促進	担当部	市民生活部
基本事業の成果指標	コミュニティ施設利用者数 コミュニティ施設の維持管理上の利用支障件数		担当課	コミュニティ推進課
			担当係	コミュニティ推進担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成24年度 ~		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
コミュニティセンター			コミュニティセンター施設、設備等の老朽化、故障による不具合について修繕、改修工事を行う。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
生涯学習推進及びコミュニティ活動の地域拠点施設として、また、災害時の一次避難所として、利用者が安心して利用できる施設運営を目指す。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
改修実施箇所数		箇所	7	4	5	5			
5. コスト									
事業費		計	千円	31,893	33,652	9,673	26,892		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	23,200		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般		千円	31,893	33,652	9,673	3,692			
正職員人工数		人工	0.3	0.3	0.3				
正職員人件費		千円	2,399	2,427	2,420				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	34,292	36,079	12,093	26,892			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		近年新設したものを除き、各コミュニティセンターでは老朽化が著しく、雨漏り・空調設備故障等が頻発しているため、適宜改修工事を行っている。特に、空調設備については、冷媒として特定フロンが使用されており、そのフロンが2020年に製造終了となることから修繕ができなくなることが想定されたため、平成28年度から平成30年度にかけて、各館（H28山家、H29山口、H30御笠）で空調機改修工事を行った。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	増加	類似事業	あり	各コミュニティセンターの改修箇所を把握し、長期的視点に立った改修計画の策定が不可欠である。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	大きい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
・各コミュニティセンターの老朽化が目立つようになっており、長期的視点に立った上で、改修を行っていく。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄					
平成23年度はコミュニティセンター管理事業の工事でおこなっていたが、平成24年度から別の事務事業としている。									